国立研究開発法人国立がん研究センター理事会 2026（令和 8）年度第 6 回議事要旨

日　時：2026（令和 8）年 9 月 25 日（金）10：30～12：00
場　所：国立がん研究センター　管理棟　第一会議室　※Webex 使用
出席者：間野博行理事長、土原一哉理事、平沼直人理事、山内英子理事、本田麻由美理事、小島博己理事、小野高史監事、近藤浩明監事
陪席者：瀬戸泰之中央病院長、土井俊彦東病院長、鈴木達也企画戦略局長、屋敷次郎理事長特任補佐、山本英紀理事長特任補佐、長島清統括事務部長、原慎治人事部長、髙野紀史財務経理部長、須戸崇志副統括事務部長

Ⅰ. 前回 2026（令和 8）年度第 5 回議事要旨及び議事録の確認
・前回議事要旨及び議事録について了承。
・前回議事録署名人を本田理事と近藤監事に依頼。

Ⅱ. 審議事項
1. 理事会議事録の取扱いについて
資料に沿って説明され、承認された。
【主な意見等】
・法人運営の透明性を確保しつつ、経営戦略等に関する情報を保護し、理事会で具体的かつ活発な議論を行うため、議事要旨を作成し公表する。
・議事要旨の形式は、過去の公表物を参考に、事務局で検討する。
・各役員が責任を持って経営に参画した記録として、議事録に発言を明記する。

Ⅲ. 報告事項
1. 広報実績等
資料に沿って報告された。
【主な意見等】
・幅広い患者・家族の意見を聞く機会を設け、医療者との対話に参加できる人材の育成につなげることが重要である。
・国内外の取組も参考に、治験・臨床試験等への理解を広げるため、全国を対象とした教育・アウトリーチ活動を検討してはどうか。

2. 企画経営部報告について
資料に沿って報告された。
【主な意見等】
・高い稼働率でも収支が厳しい状況にあり、手術室の効率的な運用やランニングコストの削減に取り組んでいる。
・医療機器の導入・更新は、保守費用も含めて検討し、良い機器を長く使用する視点が重要である。
・地震時のロボット手術の安全対策や、東病院の建替えに伴う免震対策について意見交換を行った。

以上